



いまや感染予防には欠かせない、ティスポグローブ(使い捨て手袋)。市場にはたくさんの商品があり、どれを選べば良いか迷ってしまう方も多いのでは？今回の特集は、ティスポグローブの種類別の特長と、弊社製品の中から、医療介護の現場におススメの製品をご紹介します。



## どんな種類があるの？

ティスポ手袋は、その原材料によっていくつかの種類に分類できます。一般的なティスポグローブの材料としては、ラテックス(天然ゴム) ニトリル(合成ゴム)・塩化ビニール・ポリエチレンが挙げられます。

## どんな特長があるの？

同じティスポ(使い捨て)手袋でも、材質の違いにより、それぞれ特長が異なります。それぞれの特長を知り、目的に沿った手袋を選びましょう。

**【ラテックス手袋(NR)】** ラテックス(天然ゴム)が材料のティスポグローブ。素材に強度があり、柔軟性にも富んでいます。グリップ性とフィット感が良く、指先を使う細かい作業に向いています。稀にタンパクアレルギーが出る場合があります。バリア効果が高く、血液感染ウィルスに対して効果的です。

**【ニトリル手袋(NBR)】** ニトリル(合成ゴム)が材料のティスポグローブ。ラテックス同様、素材に強度があり、フィット感もある為、指先を使う細かい作業に向いています。ラテックスアレルギーに対して良い代替品になりますが、ニトリルに対するアレルギーが出ることもあります。やや経済性に劣りますが、強度、耐油性、バリア効果、フィット感等多くの機能に優れています。

**【プラスチック手袋(PVC)】** 塩化ビニールが材料のティスポグローブ。ラテックスやニトリルと比べると、ややフィット感に劣りますが、経済的でアレルギーがでる可能性も低い為、汎用性があります。フィット感とコストのバランスから、介護の現場でよく使用される手袋です。

**【ポリエチ手袋(PE)】** ポリエチレンが材料のティスポグローブ。上記3種に比べると、かなりフィット感が劣るため細かい作業には不向きですが、着脱が容易に行えます。アレルギーの心配もなく、コストがかなり安価なため、簡単な作業や枚数をたくさん消費する現場に向いています。

※フィット感は材質だけではなく、手袋の厚みによっても変わります。一般的に薄い方が強度に劣る反面、フィット感が得られます。ポリエチ手袋は製造方法が異なるため、他3種とは異なります。

## 粉付と粉なしの違いって？

ラテックス・ニトリル・プラスチックの手袋には、粉付と粉なしがあります。

粉の材料はコーンスターチパウダーで、手袋の装着を容易にするために使用されていますが、アレルギーが出る可能性があります。粉なし(PF)タイプは、粉なしに比べややコストがかかりますが、アレルギーの心配が軽減されます。

※コーンスターチパウダー：トウモロコシのデンプンです。

### ●特長早見表●

#### <フィット性>

高  
↑  
ラテックス手袋  
ニトリル手袋  
↓  
プラスチック手袋  
低  
ポリエチ手袋

#### <アレルギーの可能性>

高  
↑  
ラテックス手袋  
ニトリル手袋  
↓  
プラスチック手袋  
低  
ポリエチ手袋

#### <コスト>

高  
↑  
ニトリル手袋  
ラテックス手袋  
↓  
プラスチック手袋  
低  
ポリエチ手袋

※宇都宮調べ

### ●ワンポイント●

食事介助や食品に触れる際は、食品衛生法(厚生省告示第370号)に適合したものを選びましょう。当社製品では、ラテックス、ニトリル、ポリエチの手袋が該当します。

### ●製品紹介●

トーマ  
ラテックス手袋EX  
100枚入  
厚み：約0.10mm  
サイズ：SS・S・M・L



トーマ  
ラテックス手袋EX PF  
100枚入  
厚み：約0.11mm  
サイズ：SS・S・M・L



シンガー  
ニトリルティスポNo.100  
100枚入  
厚み：約0.12mm  
サイズ：SS・S・M・L・LL



シンガー  
ニトリルライトPF  
100枚入  
厚み：約0.07mm  
サイズ：SS・S・M・L



生き活き  
プラスチック手袋88  
100枚入  
厚み：約0.06mm  
サイズ：S・M・L



生き活き  
プラスチック手袋77  
粉なし 100枚入  
厚み：約0.06mm  
サイズ：S・M・L



#### ★粉なし

シンガー  
クリーンポリグローブ  
100枚入  
厚み：約0.017mm  
サイズ：SS・S・M・L



暮らし生き活き  
宇都宮製作株式会社

大阪 Tel 06-6748-8468  
Fax 06-6748-8469

東京 Tel 03-5642-6220  
Fax 03-5642-6221

【参考】日本看護協会 洪 愛子  
『感染対策の必須テクニック』  
メディカ出版